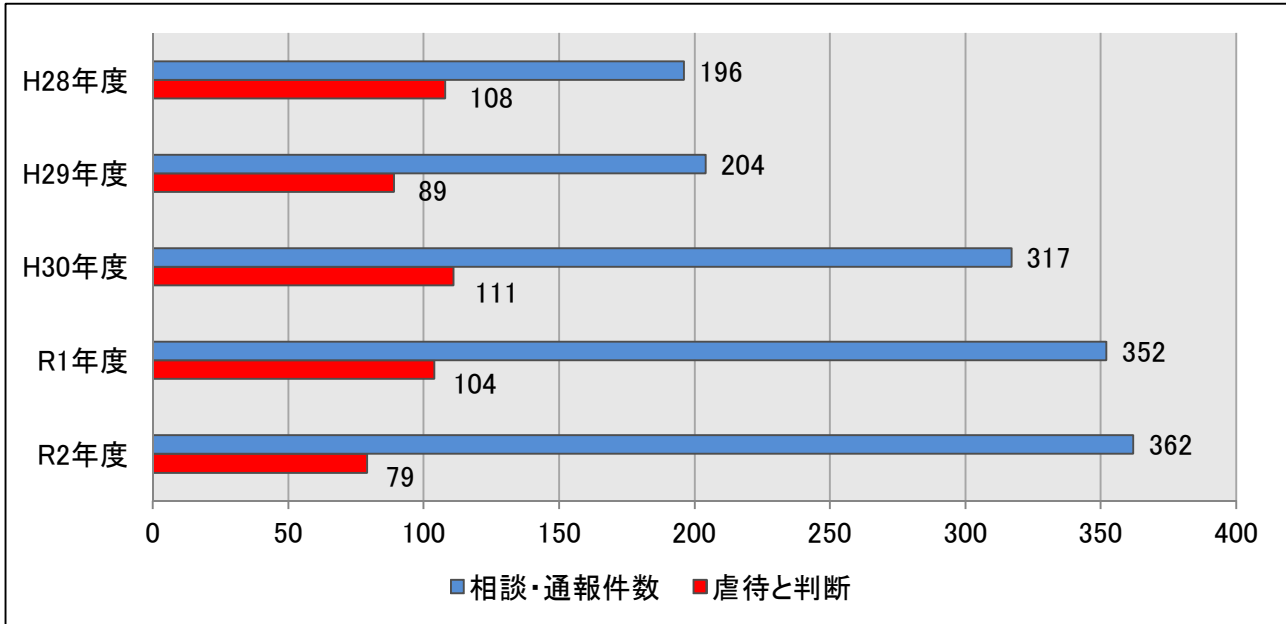


平成28年度～令和2年度  
 養護者による高齢者虐待に関する新潟市の状況 (R3.3.31現在)

- ①相談・通報件数
- ②事実確認の結果「虐待」と判断した件数

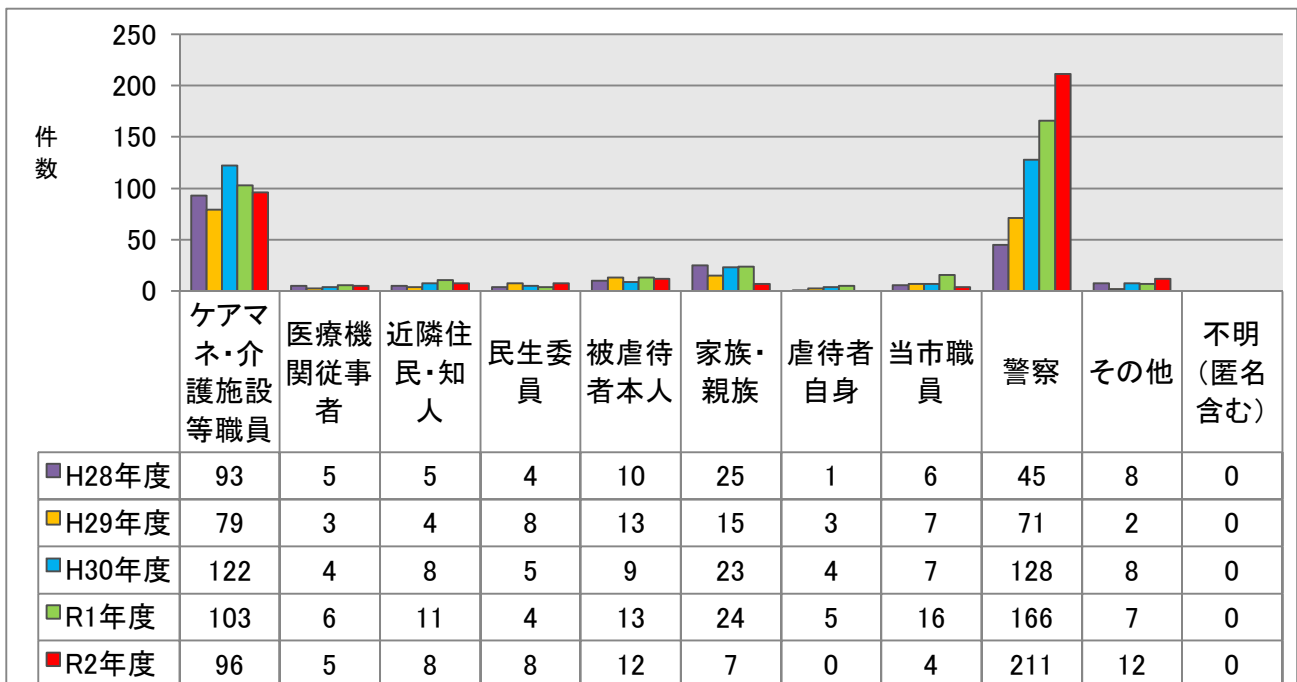


	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
相談・通報件数	196	204	317	352	362
虐待と判断した件数	108	89	111	104	79

- ・令和2年度の「相談・通報件数」は362件で、令和元年度より10件増加した。
- ・事実確認の結果「虐待と判断した件数」は79件で、令和元年度より25件減少した。
- ・令和2年度末時点で、今後調査を予定または調査の要否を検討中のものが13件。

③虐待の相談・通報者(複数選択あり)

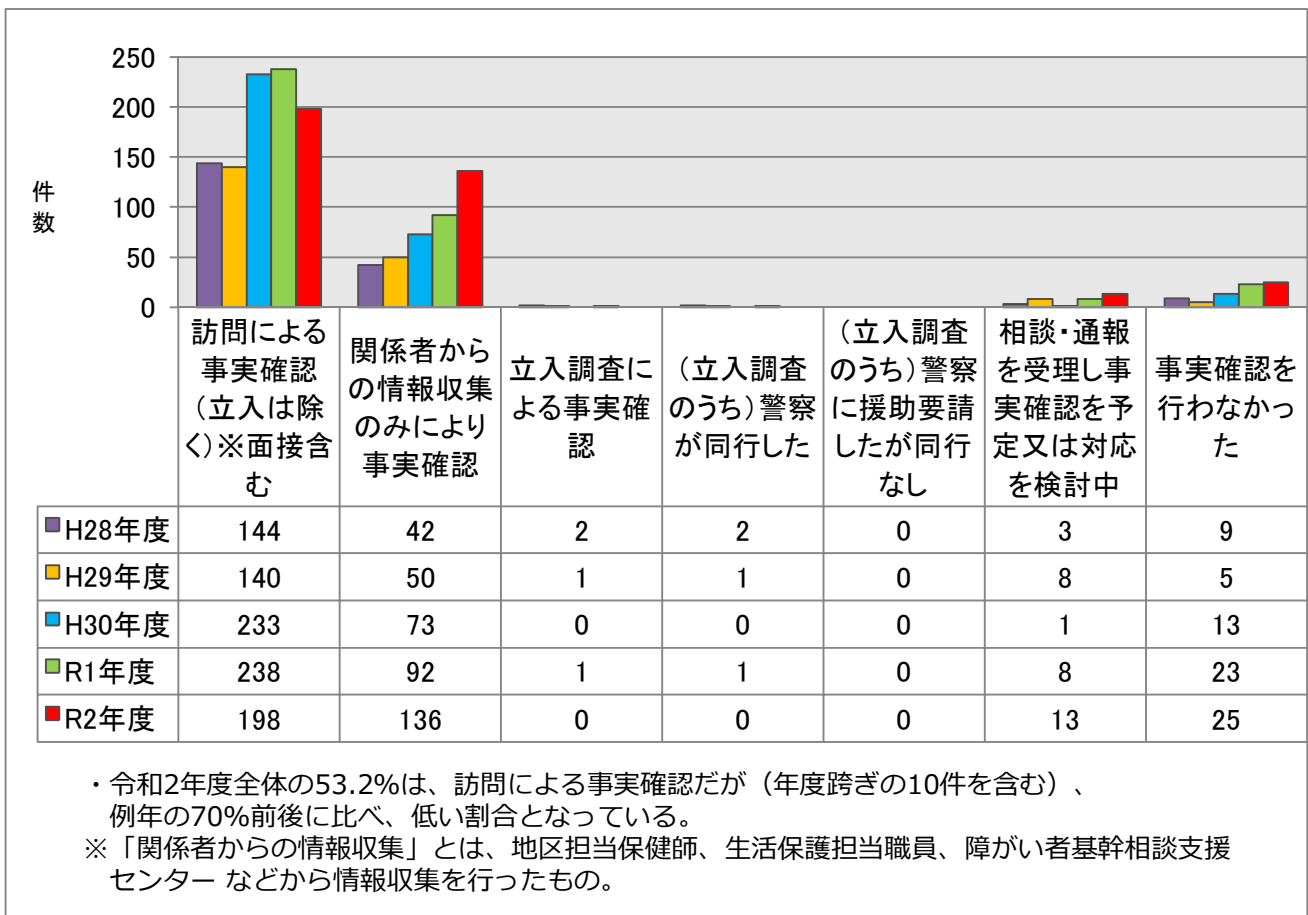
R2年度 n=362



- ・令和2年度は、「警察」からの相談が最も多く211件で58.3%、次いで「ケアマネ・介護施設等職員」の96件で26.5%である。
- ※「その他」とは、認定調査員、社会福祉協議会職員 など。

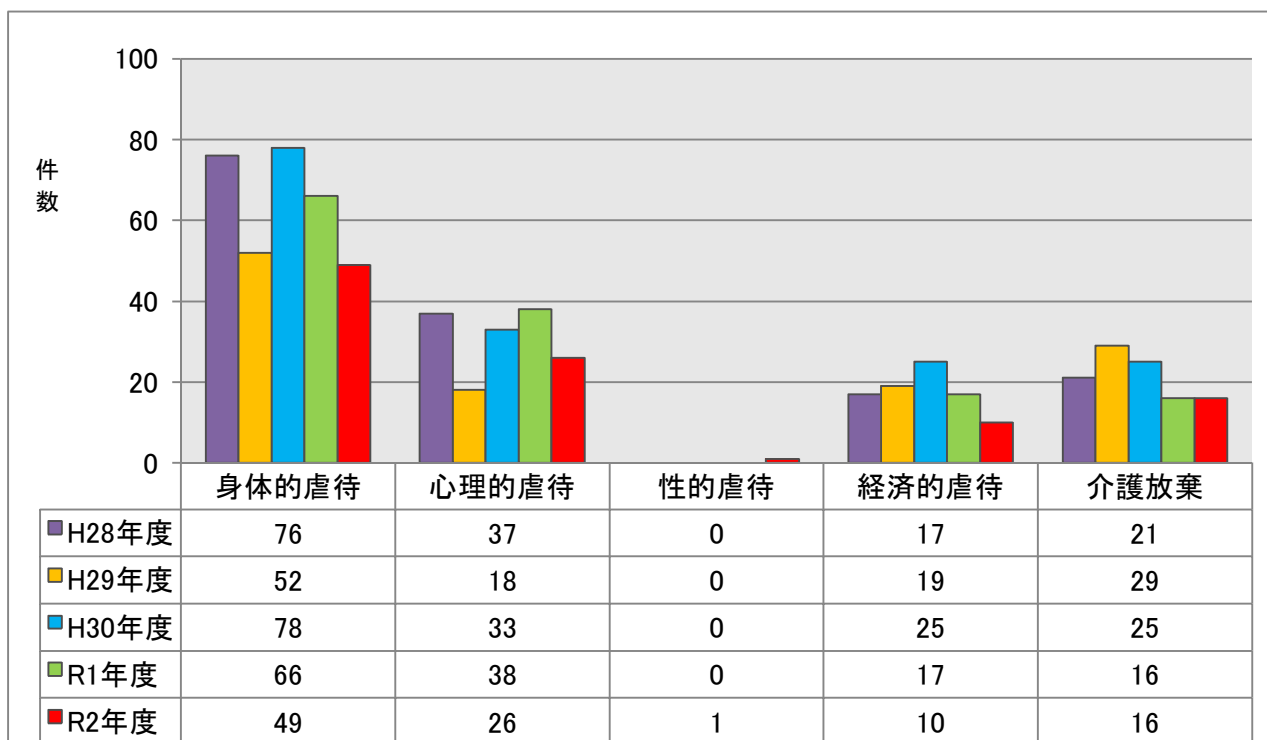
④事実確認の状況

R2年度n=372



⑤虐待種別の内訳(複数選択あり)

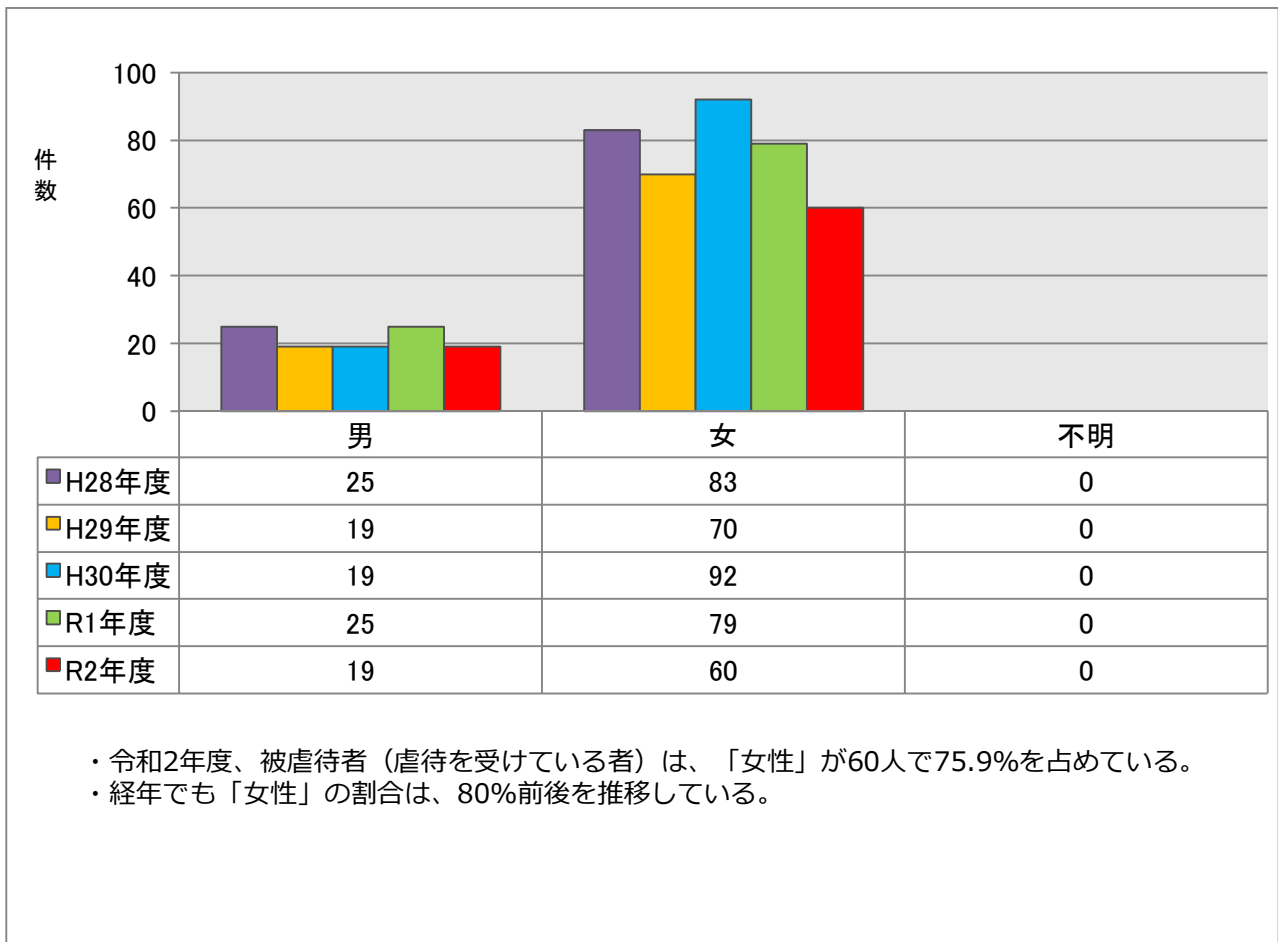
R2年度n=79



- ・令和2年度、虐待種別は、「身体的虐待」が最も多く49件で62.0%、次いで「心理的虐待」が 26件で32.9%である。
- ・経年でも「身体的虐待」の割合が最も多い。

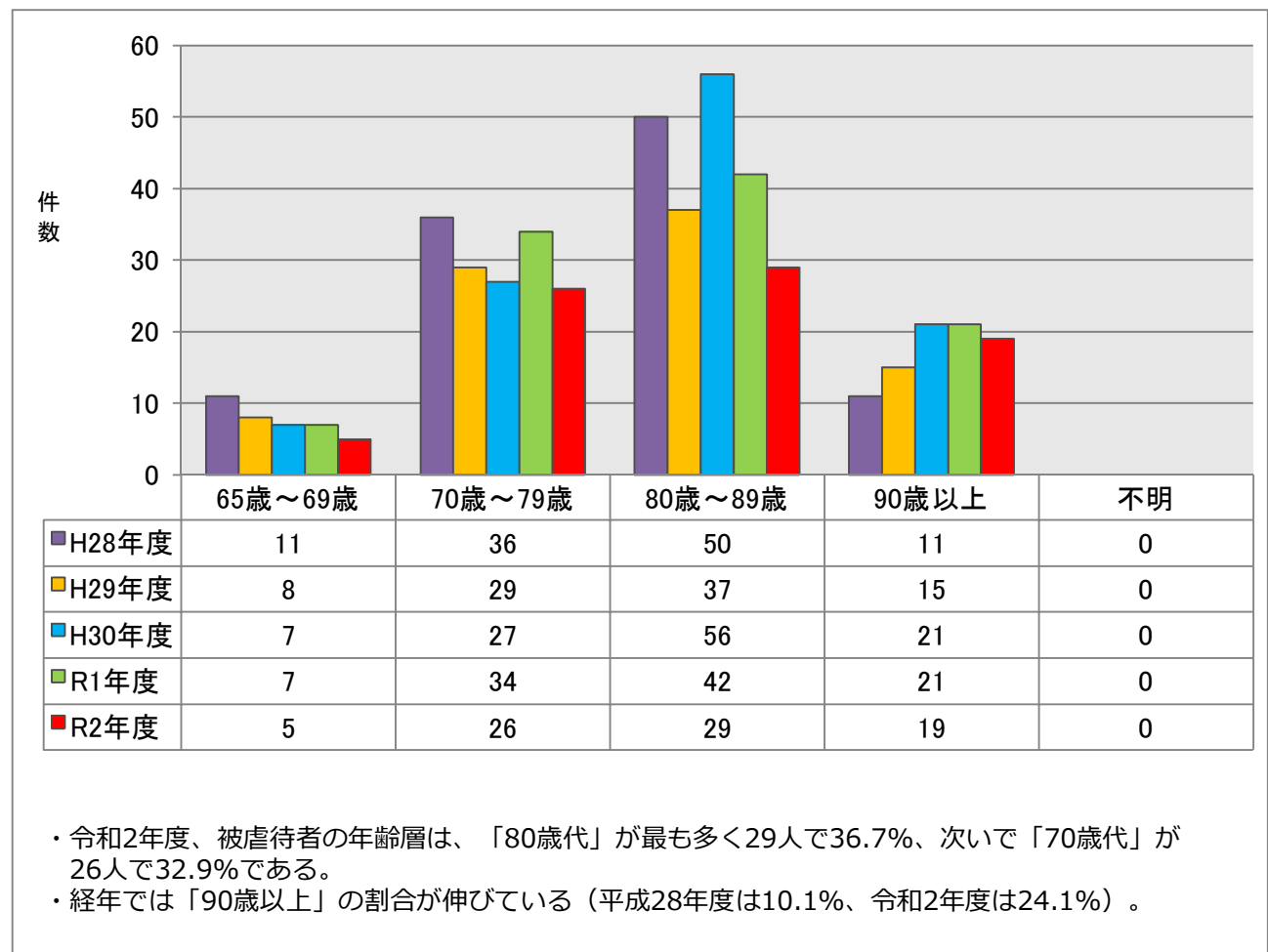
⑥被虐待者の性別

R2年度n=79



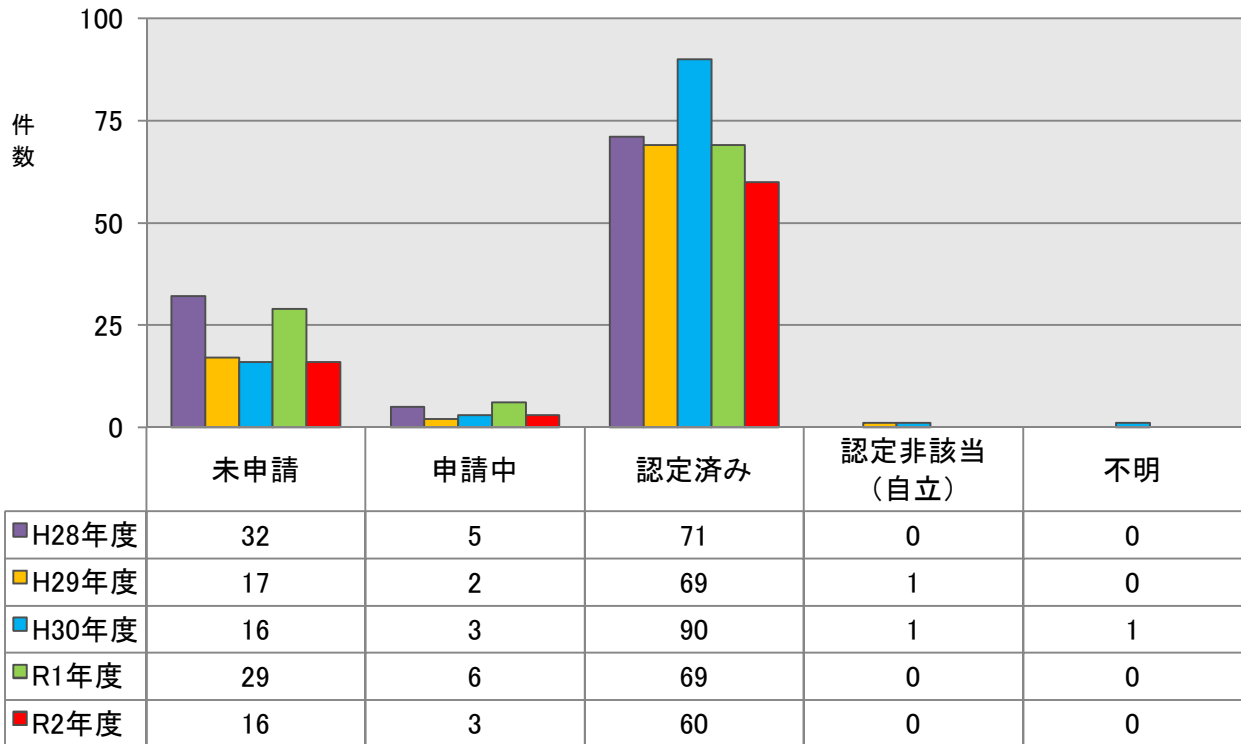
⑦被虐待者の年齢

R2年度n=79



⑧被虐待者の要介護認定の有無

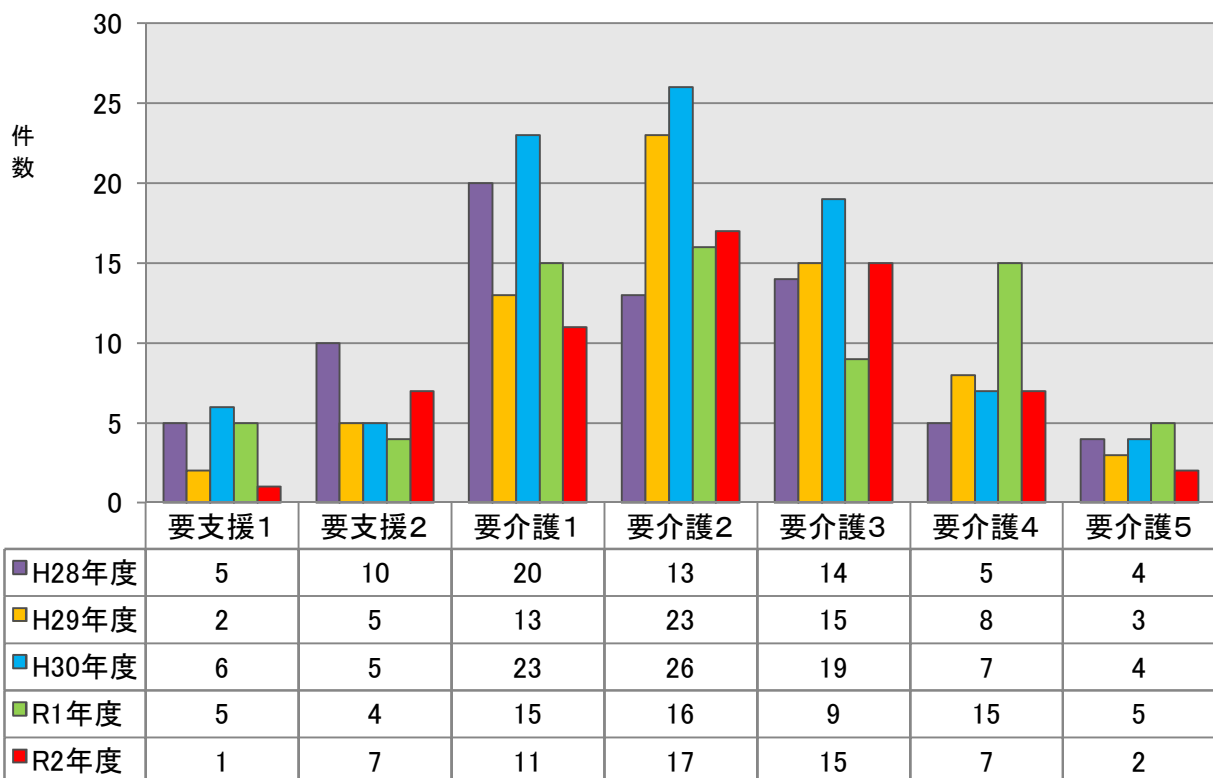
R2年度n=79



・令和2年度、「介護保険の要介護認定申請を行い、すでに要介護度の認定がある人」は、60人で75.9%である。

⑨被虐待者の要介護度

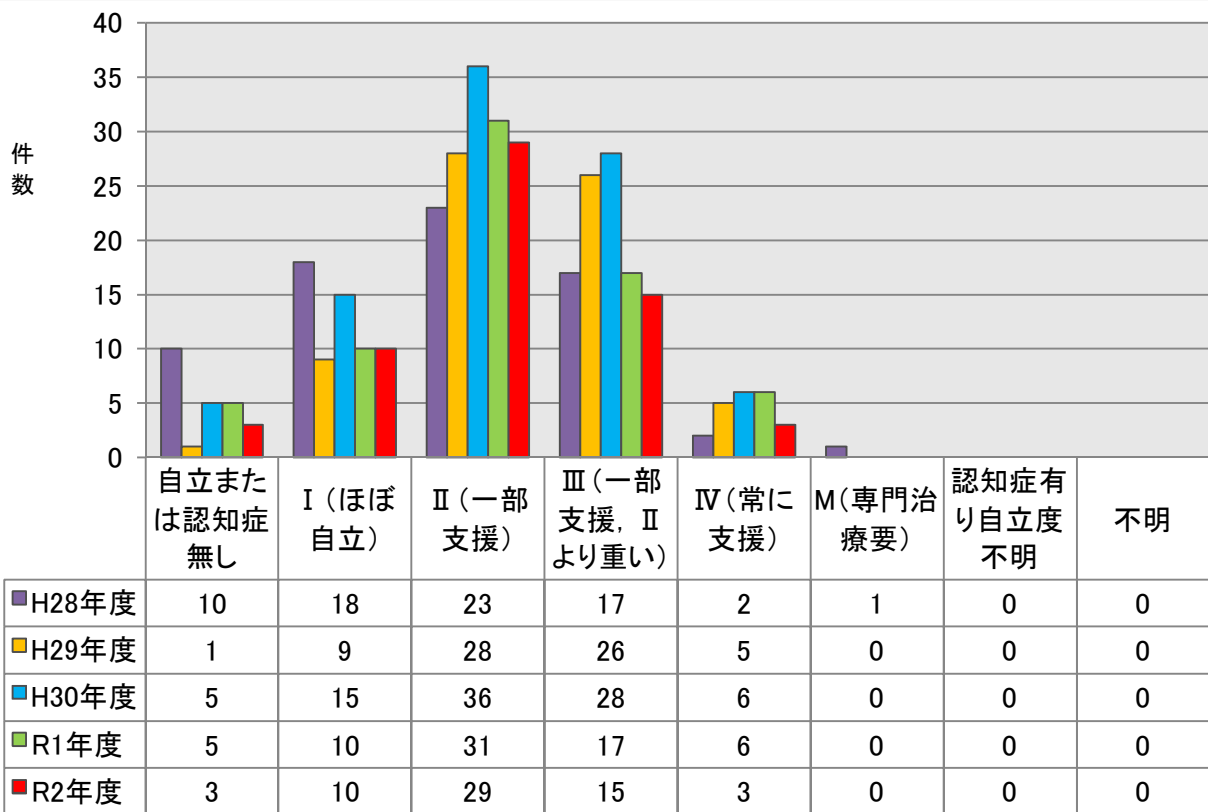
R2年度n=60



・令和2年度、すでに認定を受けている人のうち、「要介護2」が最も多く17人で28.3%、次いで「要介護3」が15人で25.0%である。

⑩被虐待者の認知症の有無

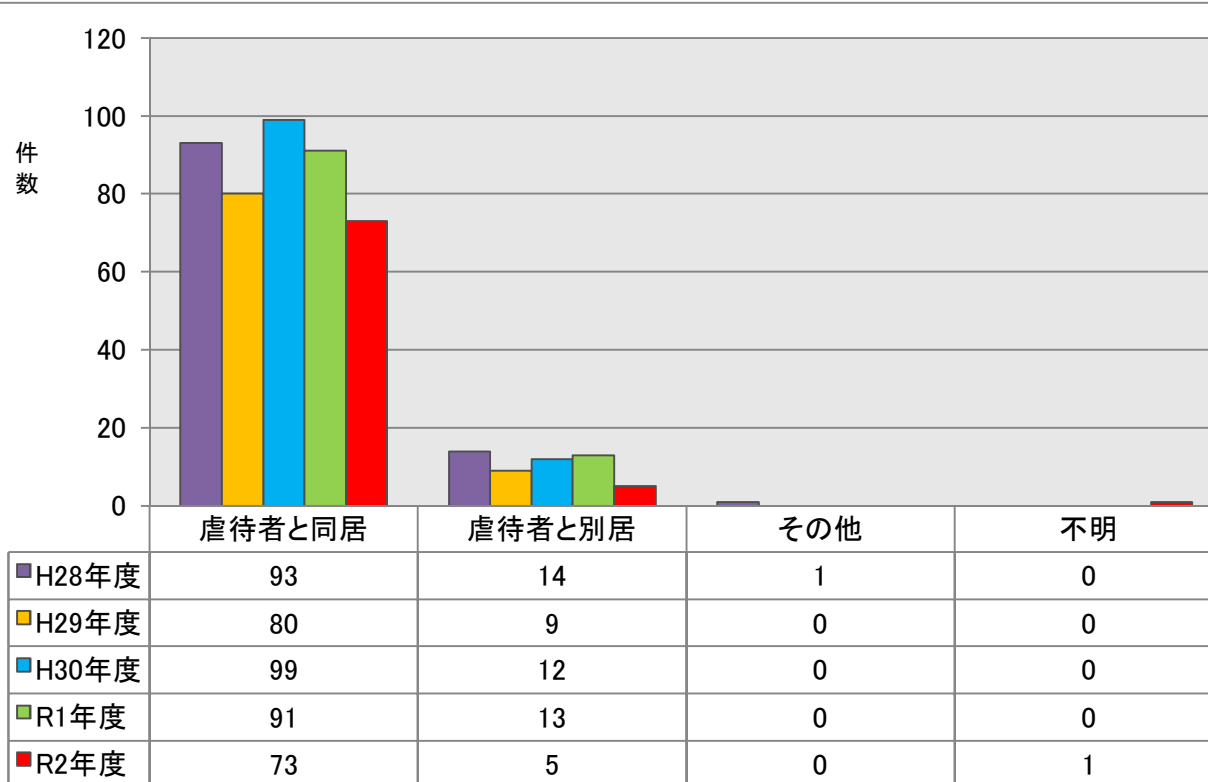
R2年度n=60



・令和2年度、すでに認定を受けている人の認知症高齢者の日常生活自立度は、日常生活に支障をきたす症状が出現し始める「自立度Ⅱ」が最も多く29人で48.3%、次いでそれより重度の「自立度Ⅲ」が15人で25.0%である。

⑪虐待者との居住形態の内訳

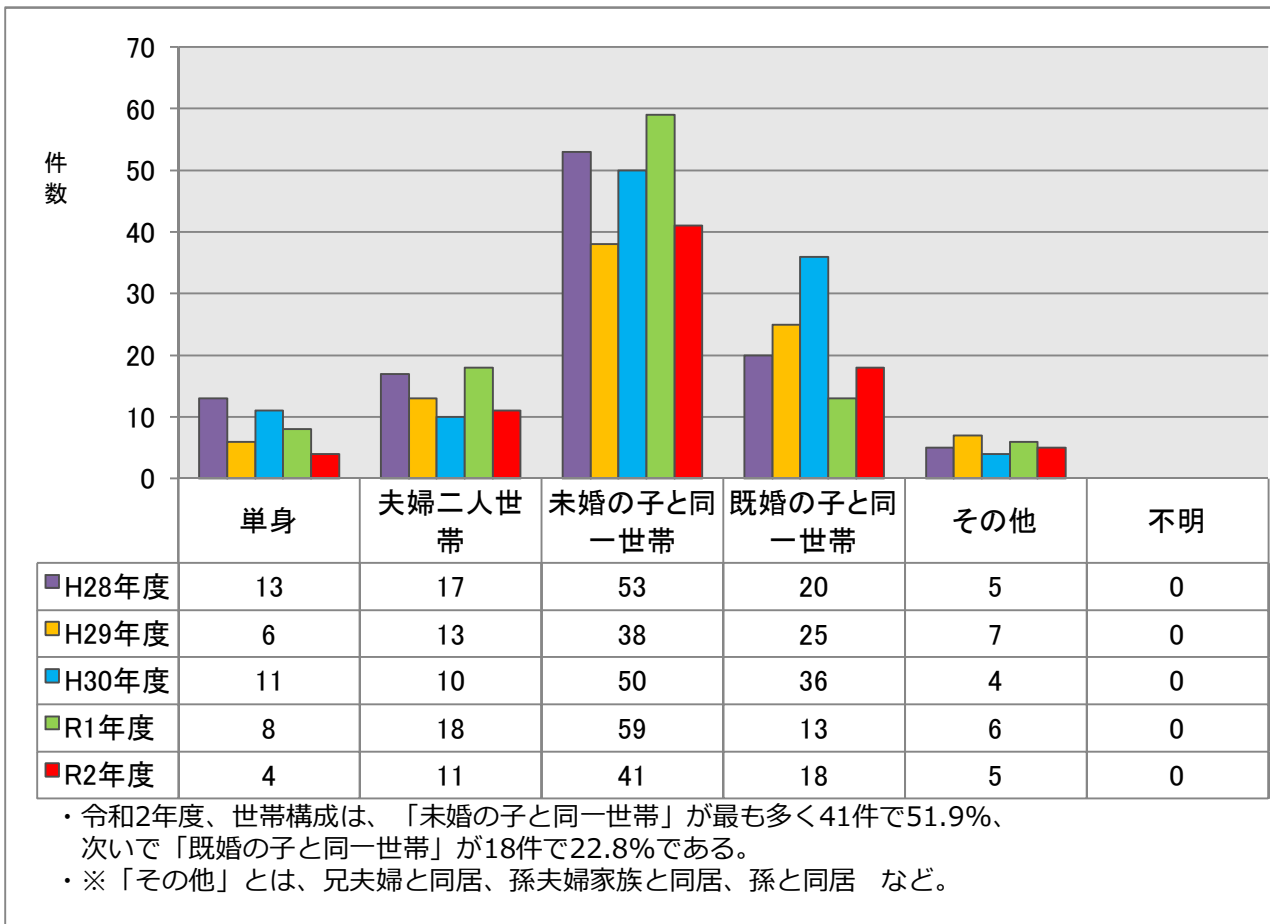
R2年度n=79



・令和2年度、居住形態は、「虐待者との同居」が73件で92.4%であり、例年、90%前後を推移している。

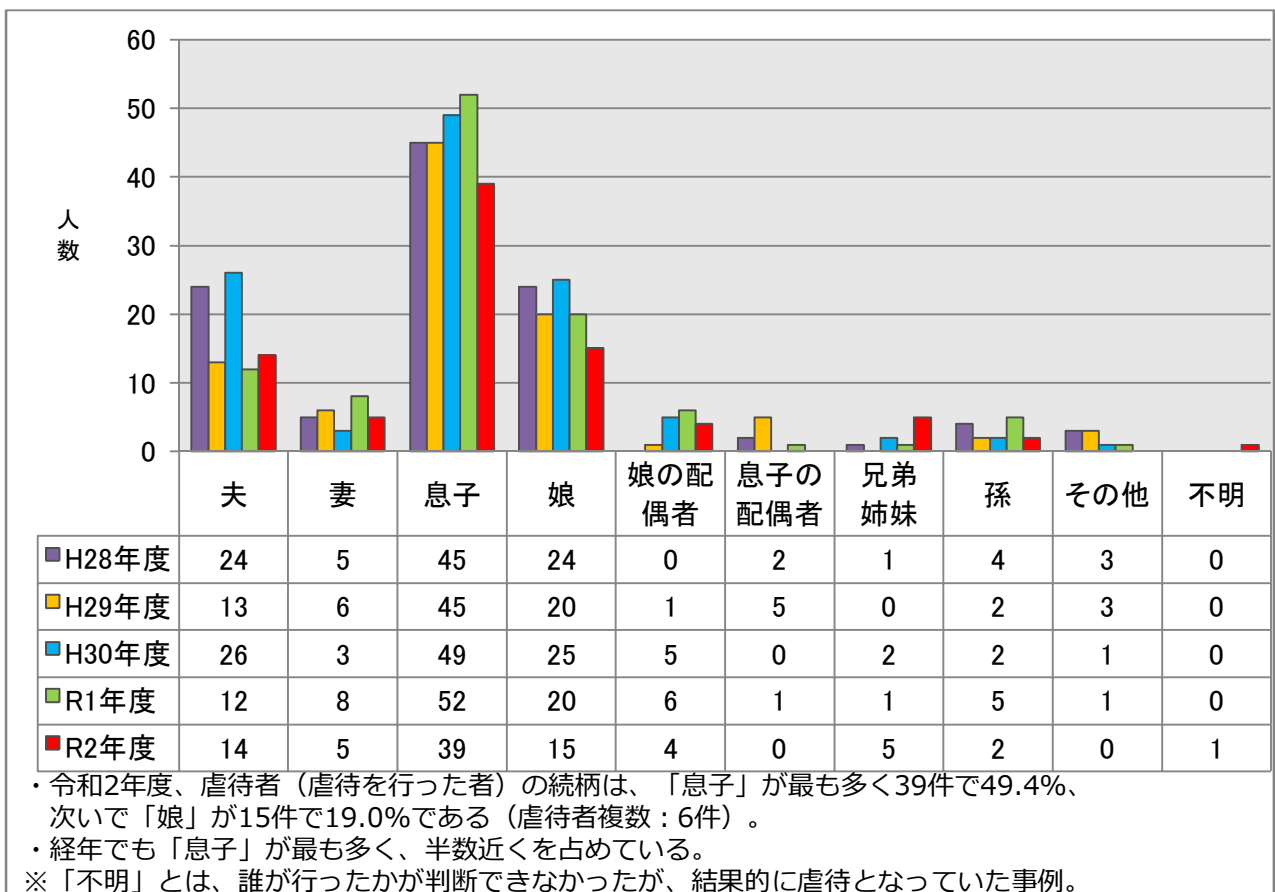
⑫被虐待者を含む世帯構成の内訳

R2年度n=79



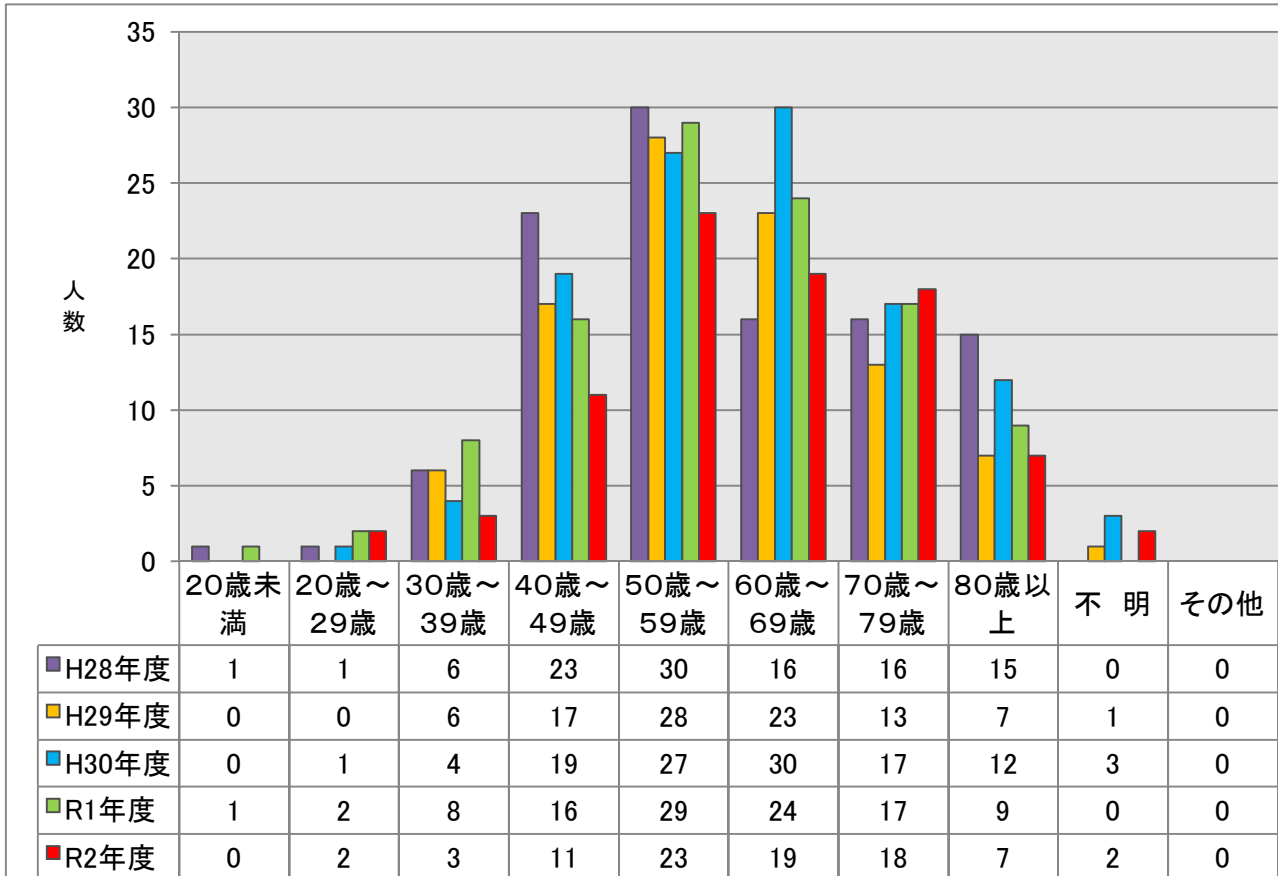
⑬虐待者の続柄(複数選択あり)

R2年度n=79



⑭虐待者の年齢

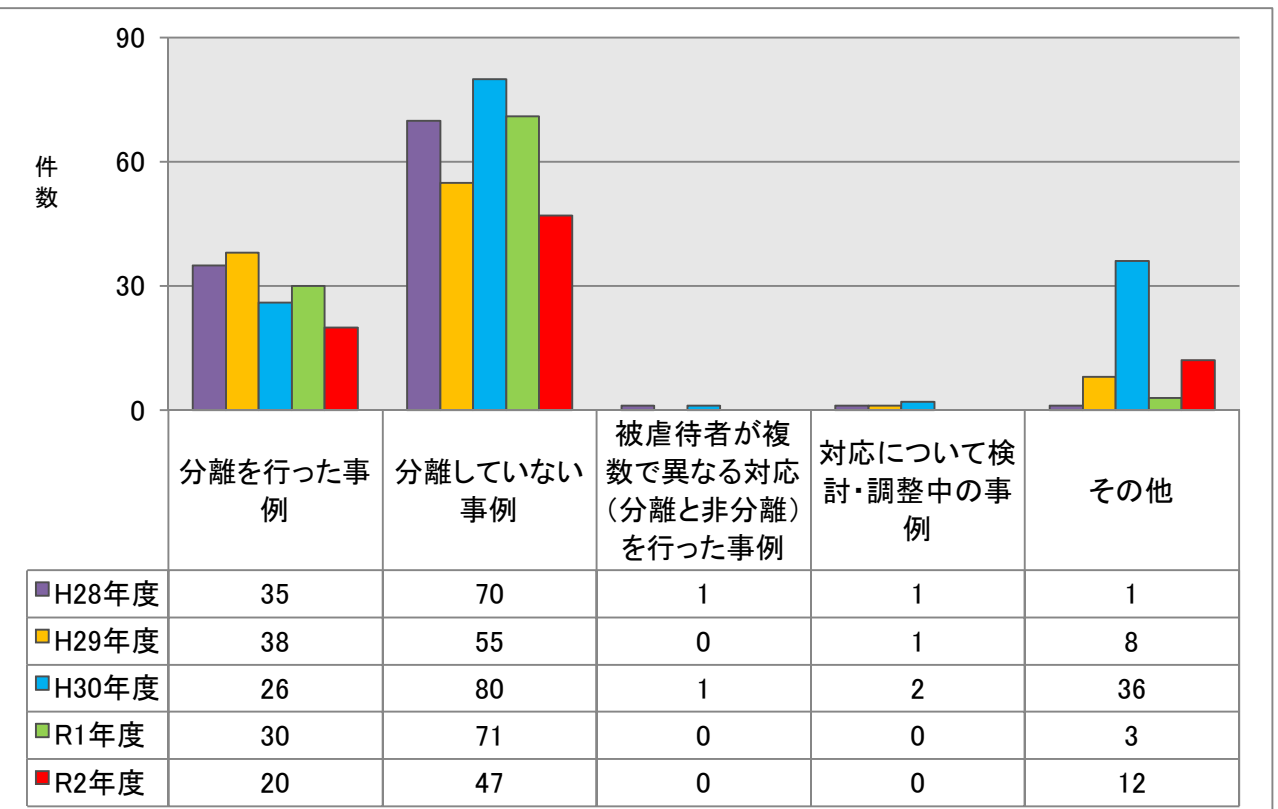
R2年度n=85



- ・令和2年度、虐待者の年齢層は、「50歳代」が最も多く23人で27.0%、次いで「60歳代」、「70歳代」と続いている（虐待者複数6件）。
- ・経年では、子どもが虐待者の事例が多いためか「50・60歳代」が延びている。

⑮虐待者との分離の有無

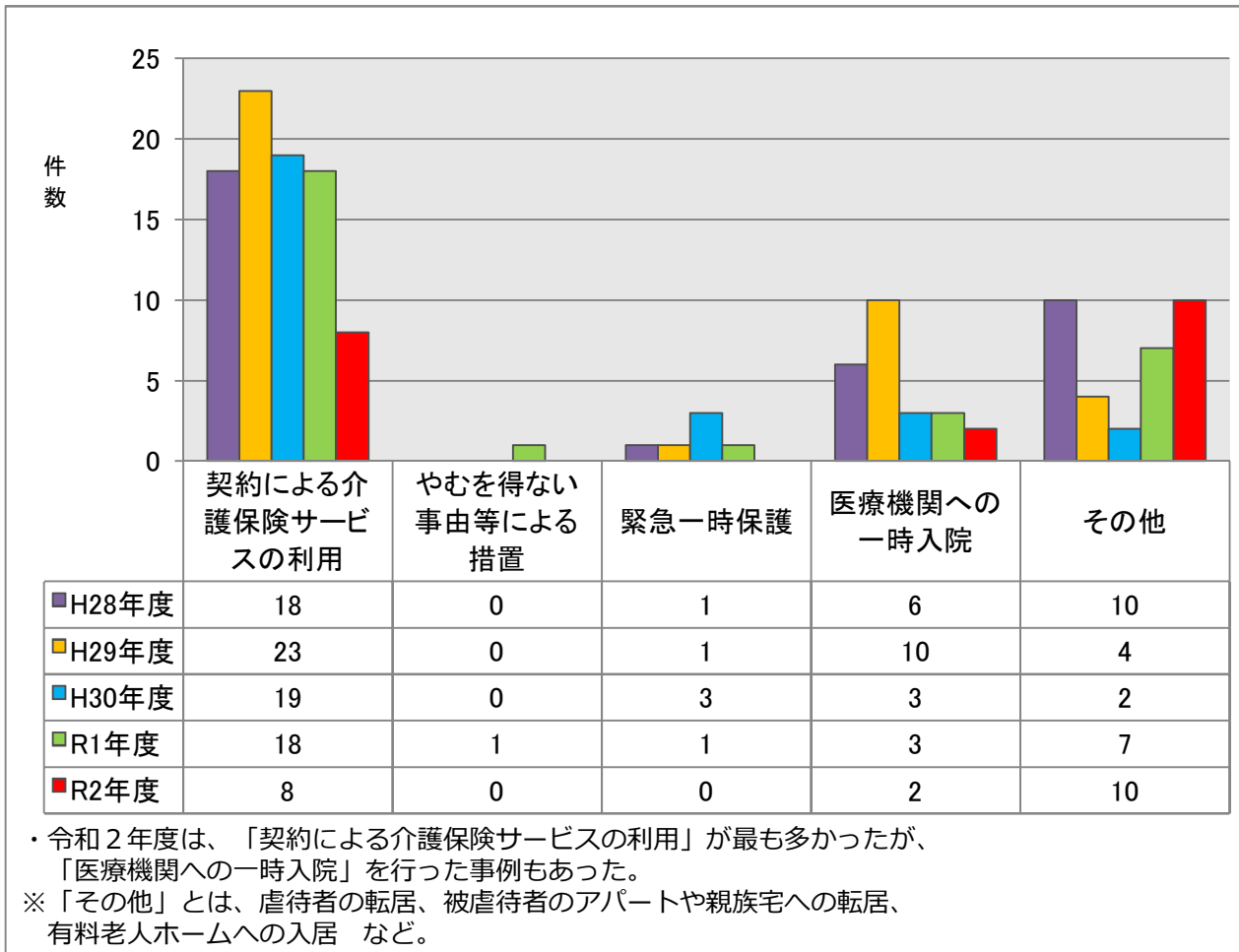
R2年度n=79



- ・例年、全体の25%程度の事例が分離を行っている。
- ※「その他」とは、虐待判断時、すでに分離がされていた事例 など。

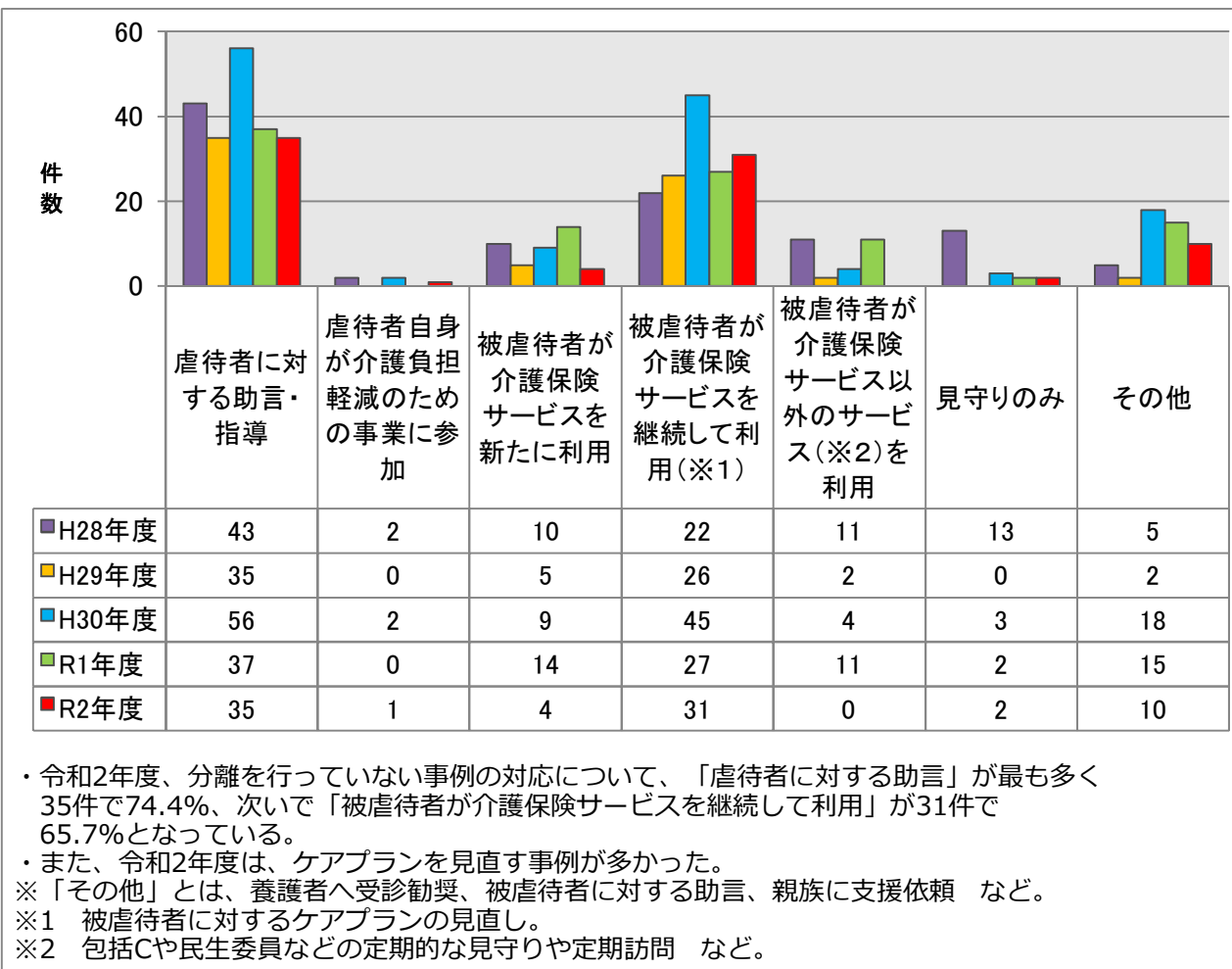
⑩分離を行った事例の対応の内訳

R2年度n=20



⑪分離していない事例の対応の内訳(「見守りのみ」を除き複数選択あり)

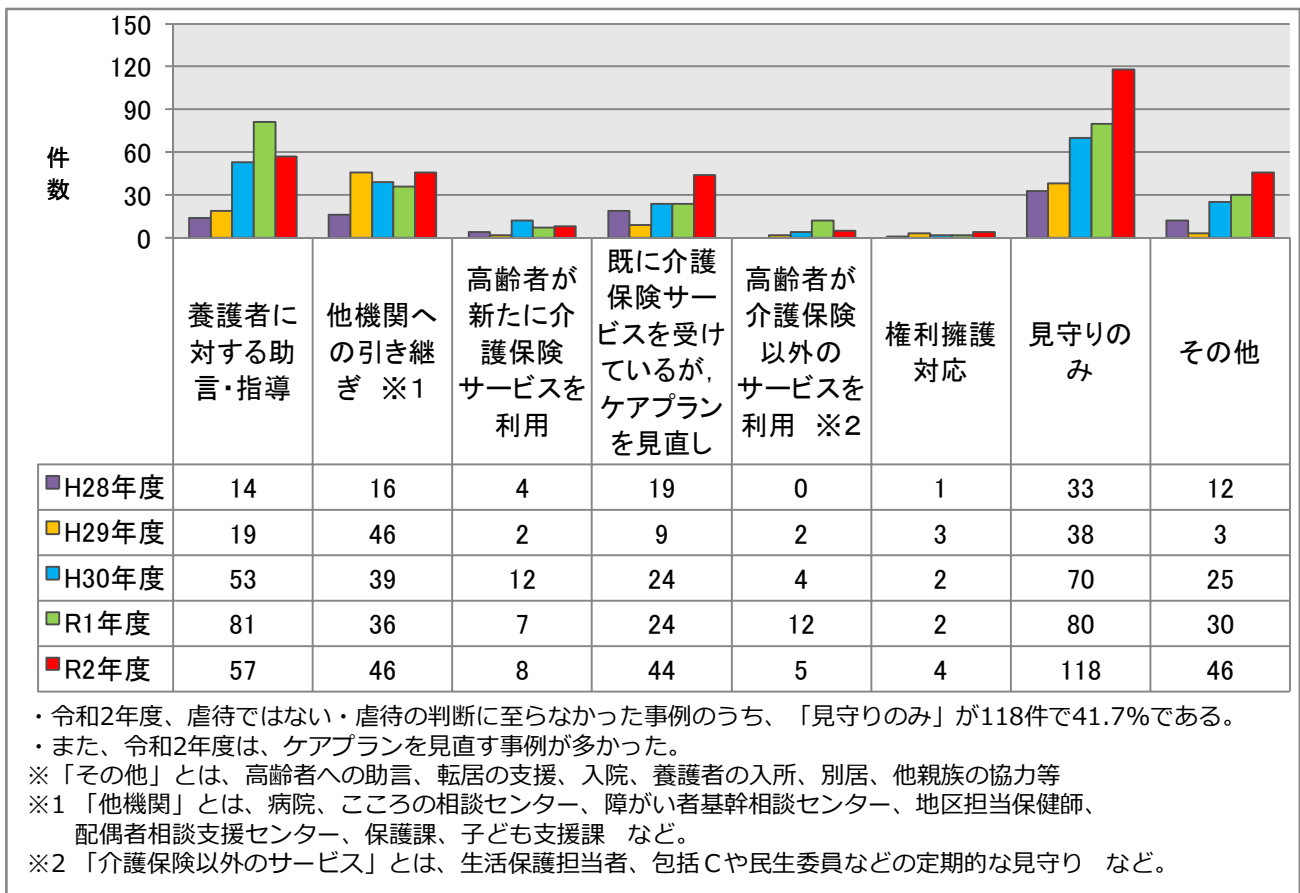
R2年度n=47





⑱虐待ではない又は虐待の判断に至らなかった事例の対応の内訳  
(見守りのみを除き複数選択あり)

R2年度n=283



⑲権利擁護に関する対応

